

4. 資料
(1) 調査票

令和元年

東京消防庁
消防に関する世論調査
調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には、後日、謝礼（図書カード500円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

1. 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。
2. 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の「1つだけ」、「いくつでも」といった説明に沿って回答してください。
3. 「その他」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご多忙中大変恐縮ですが、9月24日（火）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。
5. 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。
 - ◆ パソコンからの回答はこちらから
(アドレス記載 <https://shoubou2019.jp>)
 - ◆ スマートフォンからの回答はこちらから
(アドレス記載 <https://shoubou2019.jp/sp>)



なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。

ID : ●●●●● (半角数字で入力)
パスワード : ●●●●● (半角で入力)

インターネット回答につきましても、9月24日（火）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

6. 本調査票の設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。

【問合せ先】

東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係（担当：赤松）
電話：03-3212-2111 内線 2325 FAX：03-3212-1027

I 消防行政に対する満足度

Q1 東京消防庁では、都民のみなさまの安全と安心を守れるよう、充実した消防の行政サービスを進めています。そこで、東京消防庁の取組への印象についてお伺いします。

下記AからDの分野について、あてはまるものを、それぞれ1つずつ選び、また、そのように回答した理由を下欄からいくつでも選んでください。

A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応
- 5 消防団※の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他（具体的に)

※ 消防団

様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

B 東京消防庁の救急業務に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（#7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に)

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつでも選んでください。(どちらとも言えないと回答した方を除く)

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設
- 6 その他 (具体的に)

D 東京消防庁の火災予防に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつでも選んでください。(どちらとも言えないと回答した方を除く)

- 1 事業所 (共同住宅の共用部分を含む) への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他 (具体的に)

Ⅱ 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q2 あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな揺れがくることを示す緊急地震速報がテレビ、携帯電話、スマートフォンなどから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 使っている火を消したり、火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に)

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

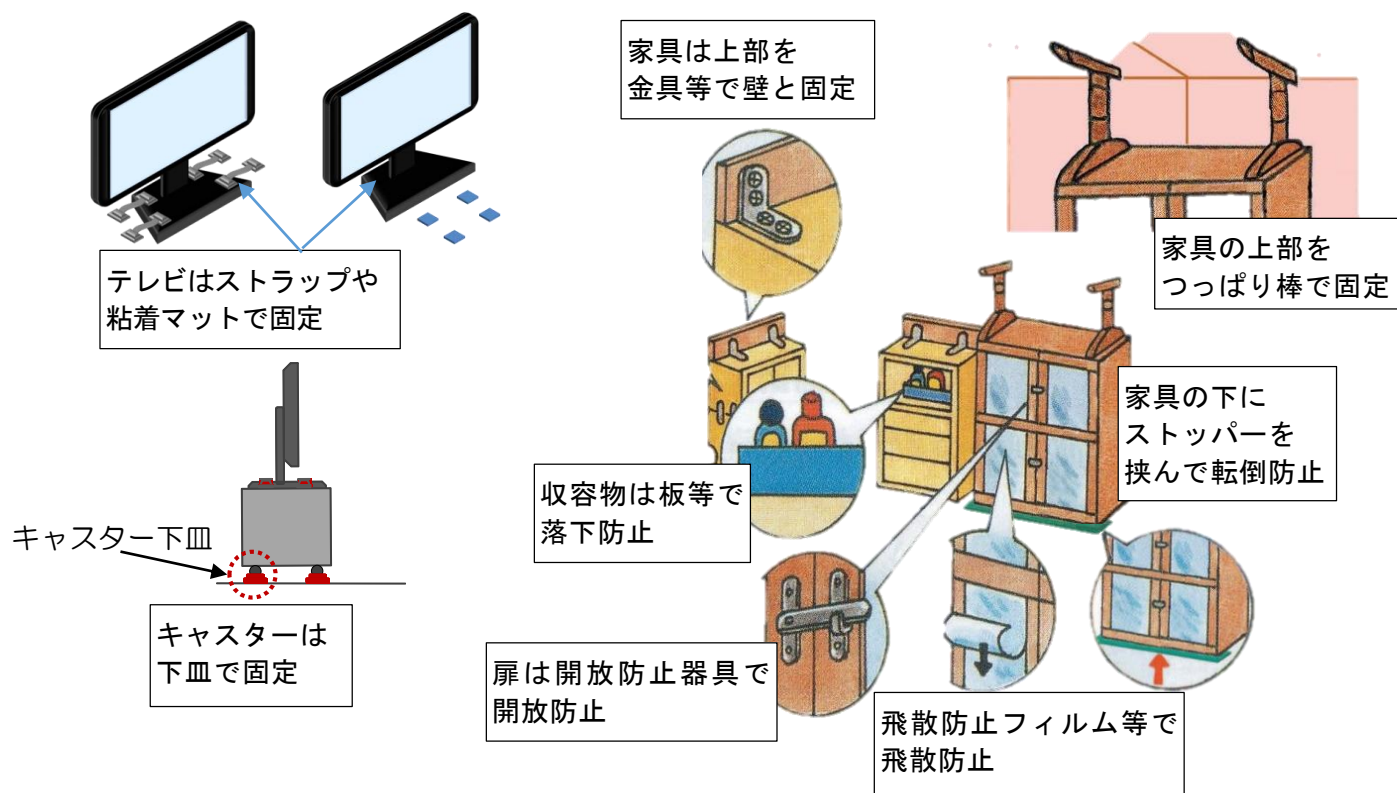
Q3-1 近年、日本で発生した大きな地震では、家具や家電が倒れてきたり、高いところに置いてある物が落ちたりすることにより、多くの方が負傷しています。

そこで、図1、図2を参考に、あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3-2へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3-2へ)

【図1「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例】

以下の対策を1つでも実施していれば、「実施している」に該当します。(あくまで参考例です。)



【図2「倒れる可能性のある家具類がない」例】



Q3-2 Q3-1で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない（一部にのみ実施している方は、実施していない部分について）理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 器具を売っている場所がわからない
- 4 器具が高価である
- 5 対策方法がわからない
- 6 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 7 壁や家具にキズを付けたくない
- 8 建物が免震又は制振構造である
- 9 その他（具体的に _____)

Ⅲ 救急に関すること

「病院？ 救急車？ 迷ったら… #7119」・東京消防庁救急相談センターと東京版救急受診ガイドについてお聞きします。

Q4 急な病気やケガをして「病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った時、電話で相談ができ、また、インターネットを使って自身で症状の緊急性を判断できる、「#7119」*を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

※ 「#7119」は、電話で相談できる「東京消防庁救急相談センター」と、インターネットによる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。詳しくは、東京消防庁ホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>) をご覧ください。

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。

Q5 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があった
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった
- 7 夜間・休日で診察時間外だった
- 8 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 9 家族や友人、居合わせた人に薦められた
- 10 かかりつけの医師又は医療関係者に薦められた
- 11 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた
- 12 外出先で具合が悪い人やけがをした人を発見した
- 13 その他（具体的に)

応急手当についてお聞きします。

Q6-1 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたは救命講習を受けたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 受けたことがある (→ Q6-2へ)
- 2 受けたことがない (→ Q7-1へ)

Q6-2 Q6-1で1を選んだ方にお聞きします。救命講習のうち、あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 その他（具体的に)

Q7-1 あなたの周りの人が急病やけがをしたとき、あなたにできる応急手当を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 声をかけるなど励ます
- 2 反応（身体の動きや意識など）や呼吸などの確認
- 3 毛布をかけるなどして保温する
- 4 けが人や急病人の症状に適した姿勢にする
- 5 やけどの手当（冷やす、被覆する）
- 6 出血を止める
- 7 骨折が疑われる部位を固定する
- 8 のどに異物がつまった時に、背中を叩いたり、口の中からかき出す
- 9 AED（自動体外式除細動器）の使用
- 10 胸骨圧迫（心臓マッサージ）
- 11 人工呼吸
- 12 その他の応急手当（具体的に)
- 13 何もしない（→Q7-2へ）

（13以外を選んだ方はQ8-1へ）

Q7-2 Q7-1で13を選んだ方にお聞きします。あなたが、何もしない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 何をしたらよいかわからないから
- 2 かえって悪化させることが心配だから
- 3 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 4 感染などが心配だから
- 5 怖いから
- 6 触るなど教わったから
- 7 自信がないから
- 8 関わりたくないから
- 9 その他（具体的に)

IV 自主防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q8-1 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車[※]による災害疑似体験
- 8 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 9 その他（具体的に _____）
- 10 どれも体験・参加したことがない（→Q8-2へ）
(10以外を選んだ方はQ9-1へ)

※ VR防災体験車

地震・火災・風水害の災害を360度のバーチャルリアリティ映像とモーションシートの揺れや風、熱などの演出により、災害を疑似体験ができます。



Q8-2 Q8-1で10を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 その他（具体的に)

V 消防団に関すること

消防団についてお聞きします。

Q9-1 あなたは、あなたの地域の安全・安心を守る消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q9-2へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q9-2へ)
- 3 知らない (→Q12-1へ)

Q9-2 Q9-1で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q10へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q10へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q9-3へ)
- 4 わからない (→Q10へ)
- 5 すでに入団している、又は、入団していたことがある (→Q10へ)

Q9-3 Q9-2で3を選んだ方にお聞きします。入団したいと思わない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 関心がないから
- 2 活動内容を知っているが、自分がやりたくないから
- 3 消防団についてよく知らないから
- 4 活動する時間がないから
- 5 その他 (具体的に)

Q10 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

Q11 消防団の活動であなたが魅力を感じることにについて、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 地域社会に貢献できる
- 2 自分の住む地域又は働く地域との結びつきを強められる
- 3 女性が活躍できる場がある
- 4 制服を着て活動ができる
- 5 防火服を着て火災現場で消火活動ができる
- 6 応急手当の知識や救助技術が身につく
- 7 無線や船舶の資格を取得できる機会がある
- 8 年額報酬や出場手当が支払われる
- 9 功労に応じて表彰制度がある
- 10 消防団活動でけがなどをした場合は、補償制度がある
- 11 学生消防団員には、就職活動を支援する制度がある
- 12 特別職の地方公務員である
- 13 その他(具体的に)

VI 火災予防に関すること

住宅用火災警報器^{※1}についてお聞きします。

Q12-1 住宅用火災警報器は、全ての居室^{※2}、台所、階段に設置が義務付けられています。あなたのお住まいの設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している (→Q12-2へ)
- 2 一部にしか設置していない (→Q12-2へ)
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない
- 4 全く設置していない

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 居室とは居間、ダイニング、子供室、寝室など常時継続的に使用する部屋をいい、浴室、トイレ、納戸などは含みません。

Q12-2 Q12-1で1及び2を選んだ方にお聞きします。

住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換^{※1}を推奨しています。あなたはこれまでにお住まいの住宅用火災警報器の作動確認^{※2}及び本体交換を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 作動確認を実施した
- 2 本体交換を実施した
- 3 どちらも実施した
- 4 知っているが実施していない
- 5 知らなかった

※1 本体交換とは、自動試験機能や作動確認により機器の異常が判明した場合や自動試験機能を有さない住宅用火災警報器の交換期限が近くなった場合に交換することを言います。

※2 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することと言います。

<フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

お住まいの地域 () 区・市・町・村)

性別 1 男性 2 女性

年齢 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70歳以上

ご職業 1 自営業主 2 家族従業(家業手伝い)
3 勤め(フルタイム) 4 勤め(パートタイム)
5 無職の主婦・主夫 6 学生
7 その他の無職
8 その他 ()

家族構成 あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

- 1 6歳以下の乳幼児 2 65歳以上の方
3 病気などで寝たきりの方 4 身体の不自由な方
5 いずれもない

住居形態 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

- 1 一戸建て
2 マンション・アパート (何階にお住まいですか→ 階)
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など (何階にお住まいですか→ 階)

建物構造 あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 耐火造 (鉄骨造、コンクリート造など)
2 耐火造以外

所有区分 あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 持家 (家族所有含む)
2 賃貸

消防との関わりについて 消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 その他（具体的に _____）

質問はすべて終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。



ありがとうございました！

(2) 調査地点一覽

	地域	人口 (18歳以上)	地域地点数	区市町村	人口 (18歳以上)	地点数	抽出地点		抽出地点		抽出地点		
							丁目	人口	丁目	人口	丁目	人口	
区部	(1) 都心地域	383,513	8	千代田区	51,252	1	吾妻町2丁目	1,259					
					中央区	131,547	3	新川2丁目	3,344	日本橋人形町2丁目	1,498	月島2丁目	1,656
					港区	200,714	4	赤坂6丁目	2,387	芝浦4丁目	7,969	高輪1丁目	3,894
	(2) 山手地域	870,470	19	新宿区	270,159	6	四谷坂町	1,437	市谷本村町	1,762	矢来町	2,566	
					文京区	179,824	4	大久保2丁目	6,057	北新宿1丁目	5,330	西新宿6丁目	2,250
					渋谷区	189,907	4	白山4丁目	2,373	関口1丁目	2,837	西片2丁目	1,508
					豊島区	230,580	5	本郷込5丁目	3,341				
					北区	189,907	4	恵比寿3丁目	2,955	広尾5丁目	2,034	代々木5丁目	3,443
	(3) 下町地域	975,021	22	台東区	163,544	4	千束3丁目	2,486					
					墨田区	226,433	5	千歳3丁目	1,425	本所1丁目	1,642	向島3丁目	2,513
					江東区	415,560	9	柳橋2丁目	1,322	東上野6丁目	1,180	亀泉3丁目	1,854
					荒川区	169,484	4	南千住7丁目	3,051	町屋1丁目	2,084	東尾久4丁目	2,584
					足立区	563,742	13	足立4丁目	2,232	梅島3丁目	2,856	勝一丁目	3,413
	(4) 東部地域	1,499,877	33	葛飾区	378,581	8	東新小岩3丁目	1,847	東四つ木4丁目	2,231	堀切4丁目	2,170	
					江戸川区	557,554	12	平井3丁目	3,510	松島3丁目	3,451	松江7丁目	1,861
					練馬区	608,038	14	南大塚4丁目	2,987	大塚学園町7丁目	2,349	眞井1丁目	2,696
					中野区	278,849	6	弥生町1丁目	4,043	中央1丁目	3,750	中野1丁目	3,824
					杉並区	482,223	11	成田東5丁目	3,376	善哉北3丁目	3,012	井草2丁目	2,844
	(5) 西部地域	2,365,214	53	世田谷区	761,150	17	北沢1丁目	3,143	稲田3丁目	2,383	桜1丁目	2,268	
					目黒区	234,954	5	上目黒2丁目	2,741	目黒1丁目	2,301	目黒本町2丁目	2,531
					大田区	611,868	14	大森南2丁目	2,312	大森西3丁目	4,108	東馬込1丁目	2,583
					品川区	330,142	7	北品川5丁目	3,217	東友田2丁目	2,478	南大井3丁目	3,876
					板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574
	(6) 南部地域	942,010	21	板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
					北区	288,691	6	王子5丁目	4,962	東十条3丁目	1,931	神谷1丁目	3,162
大田区					611,868	14	大森南2丁目	2,312	大森西3丁目	4,108	東馬込1丁目	2,583	
品川区					330,142	7	北品川5丁目	3,217	東友田2丁目	2,478	南大井3丁目	3,876	
板橋区					468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
(7) 北部地域	757,195	17	板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574		
				板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
				板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
				板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
				板橋区	468,504	11	板橋4丁目	3,174	中丸町	3,573	本町	3,574	
市町村部	(8) 西多摩地域	322,756	7	青梅市	114,017	3	今井1丁目	1,370	新町1丁目	1,206	野上町3丁目	1,527	
					福生市	47,210	1	志茂	1,593				
					あきる野市	67,456	2	二宮	2,230	引田	1,629		
					羽村市	45,789	1	小作台2丁目	767				
					瑞穂町	27,654	0						
					日の出町	13,902	0						
					奥多摩町	4,692	0						
	(9) 南多摩地域	1,104,435	25	八王子市	469,165	10	子安町1丁目	2,524	大和田町1丁目	1,739	東浅川町	5,527	
					町田市	356,155	8	森野2丁目	1,822	本町田	12,472	野津田町	4,125
					日野市	153,889	4	篠川	1,161				
					多摩市	125,226	3	蓮光寺1丁目	1,607	馬引沢2丁目	1,225	豊ヶ丘1丁目	1,500
					立川市	152,810	3	錦町1丁目	3,308	若葉町4丁目	1,677	上杉町5丁目	2,041
					昭島市	93,622	2	田中町3丁目	1,169	松原町1丁目	1,894		
					国分寺市	103,187	2	南町2丁目	1,541	富士本1丁目	1,169		
	(10) 北多摩西部地域	542,924	12	国分寺市	103,187	2	南町2丁目	1,541	富士本1丁目	1,169			
					国立市	63,801	2	西2丁目	2,577	北2丁目	1,230		
					東大和市	70,939	2	狭山4丁目	561	向原6丁目	1,362		
					武蔵村山市	58,565	1	大南3丁目	1,666				
					小平市	158,284	4	たかの台	1,018	小川東町1丁目	1,419	善平町3丁目	1,708
					東村山市	126,053	3	青葉町1丁目	1,219	栄町2丁目	2,615	諏訪町1丁目	1,321
					西東京市	168,376	4	南町4丁目	1,087	向台町4丁目	1,691	富士町4丁目	1,738
	(11) 北多摩北部地域	612,637	14	西東京市	168,376	4	南町4丁目	1,087	向台町4丁目	1,691	富士町4丁目	1,738	
					調布市	195,587	4	調布7丁目	2,258				
					狛江市	69,752	2	東和泉1丁目	1,994	若戸北3丁目	1,643		
					小金井市	101,148	2	中町2丁目	2,051	前原町3丁目	2,375		
調布市					195,587	4	調布7丁目	2,258					
狛江市					69,752	2	東和泉1丁目	1,994	若戸北3丁目	1,643			
小金井市					101,148	2	中町2丁目	2,051	前原町3丁目	2,375			
(12) 北多摩南部地域	858,301	19	三鷹市	155,491	3	林の路1丁目	2,671	上連雀1丁目	1,795	大沢1丁目	1,338		
				府中市	213,365	5	白糸台1丁目	2,190	浅間町3丁目	1,155	清水が丘3丁目	1,349	
				調布市	195,587	4	調布7丁目	2,258					
				狛江市	69,752	2	東和泉1丁目	1,994	若戸北3丁目	1,643			
				小金井市	101,148	2	中町2丁目	2,051	前原町3丁目	2,375			
				調布市	195,587	4	調布7丁目	2,258					
				狛江市	69,752	2	東和泉1丁目	1,994	若戸北3丁目	1,643			
合計				11,234,353	250								

(3) 東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

- 「日頃の活動についての感謝や励ましについて」
- 「調査内容、方法に関する意見」
- 「調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと」
- 「要望など」
- 「広報活動などについて」
- 「救急車の利用について」
- 「その他」

■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ 日常生活をする中で、消防の方々の仕事や業務を意識することはあまりないのですが、いつ自分や周りの人間がお世話になるかも分かりません。時には命がけの作業もあるかと思えます。感謝の言葉を直接言えることはないですが、この場を借りて御礼を申し上げます。いつもありがとうございます。(40代 男)
- ・ 危険を伴なう大変なお仕事です。新しい知識も必要でしょう。マンションの防災訓練に参加して下さる職員の方は、皆さん自信と誇りをもって活動しているように思います。素晴らしいと思っています。(60代 女)
- ・ ご活躍に期待しています。特に夏場は暑い中大変ですけど、がんばってください。(60代 男)
- ・ いつも私達市民のために活躍して頂き、有難うございます。(70歳以上 女)
- ・ 救急を呼んだ際には、丁寧に対応して頂きとても感謝しております。(50代 女)
- ・ 仕事から散歩や子どもたちの笑顔、興味の為に消防車救急車を見る為、今までに何度も消防署に行かせて頂いています。ただ車を見るだけではなく、時には声をかけて下さる職員の方もいらっしゃったり、子ども達の喜びや夢にとても協力していただけて感謝しています。仕事内容はとても大変だと思えますが、お互いに命を守る仕事をしているという事にとても共感があります。子どもたちに消防車、救急車は大人気です。安心・安全の為に今後も宜しくお願いします。(50代 女)
- ・ 大変だとは思いますが、いつも都民を守っていただき感謝しています。ビル、人も多い中、安心して暮せる様これからも頑張ってください。(40代 男)
- ・ 先日に講習会をして頂きました。前日の台風で大忙しかったのに丁寧にして頂き、出席者全員感謝しております。消火以外に台風の片付けなど仕事外の事までしていたへんだなあ~と思いました。我々の為にいつもありがとうございます。身体に気をつけて下さい。1つ思う事は、大したことでもないのに消防車など実働しすぎだなあ~とは毎回思っています。(40代 女)
- ・ いつもありがとうございます。大変なお仕事かと思えますが、助けられている人は沢山います。とても感謝しています。(40代 女)
- ・ 普段はあまり関わることはありませんが、テレビやネットで活動されている姿を拝見いたします。これからも宜しくお願い致します。(50代 男)
- ・ 私の知り合いに消防署で勤務されている方がいますが、日々の訓練等で地域の安全に貢献さ

れており、非常に感謝しております。今後とも万が一の時には都民の力になっていただけたらと思います。(30代 男)

- ・ 何の疑問の意見もありません。特別な訓練をされ、貢献下さって、感謝してます。これからもよろしくお願いします。(50代 女)
- ・ 最近、災害が多く様子をテレビで見る事が多く、仕事ぶりに感心しています。(60代 女)
- ・ 親のことで救急車に来て頂き、親切にしてくださいました。今でも感謝しております。ありがとうございました。(70歳以上 女)
- ・ #7119の相談センターがあることで、子供が小さい時(今もですが…)に病気になる、何度も助けられました。私1人では判断ができないので、迷ったときは、心強いです。ありがとうございます。1年に1回は家族で防災館に行っています。色々体験することで、学んでいます。私や主人も防火防災に対する意識が、だいぶかわりました。(40代 女)
- ・ 大変なお仕事だと思います。消防が要請されない安全で平和な日常が続く日々を常に願っております。頑張ってください。(40代 女)
- ・ いつもいつも命がけで市民を守って下さり、本当にありがとうございます。感謝の思いで一杯です。皆様どうかお身体ご自愛下さい。無事故祈っております。これからもどうかよろしくお願い致します。(50代 女)
- ・ 先日、私の母が救急でお世話になり大変感謝しております。病院についてからバタバタとしておりお礼が言えなかったのでこの場で申し訳ありませんがお伝えいたします。母も具合がよくなりました。ありがとうございました。(40代 女)
- ・ 近くに消防出張所がありますが、近くを清掃して下さったり、豪雨の際には排水を助けて下さったり、事故の際も現場に急行していらっしゃる姿を拝見しており大変有難く思っております。(40代 女)
- ・ 日頃から体を張って訓練を積み、都民を見守っている姿勢に対し感謝しております。今後とも頑張ってください。(70歳以上 男)
- ・ 東日本大震災など大きな災害があると注目をあびることが多いと思いますが、日々の救助活動・啓発活動で助けられている人が多くいると思います。自助、共助の気持ちを持ちつつ、困った時に助けていただける東京消防庁の方々には感謝です。(30代 女)
- ・ 消防車が緊急走行で通り過ぎた後の「ご協力ありがとうございます！」に感動しました(最近)。何言っているか分からないことが多かったので、最近、はっきり伝わるように言っていて驚きました。いつもご苦労さまです。これからも宜しくお願いします。(20代 女)
- ・ 「救急車が出払っている。」という時も、消防車で救急隊の人が先に来てくれて心強かったです。皆さん、いつも温かくてホッとしました。(30代 女)
- ・ 大変なお仕事ですが、がんばってください。いつも見守っていただきありがとうございます。(70歳以上 女)
- ・ みなさんがいてくれるおかげで安心して暮らすことができます。いつも本当にありがとうございます。これからもよろしくおねがいいたします。(20代 女)
- ・ いつも人命救助に努めて頂きありがとうございます！世の中で1番かっこいい存在だと思います。これからも応援しています。(30代 女)
- ・ 命がけで働いてくれて本当にありがとうございます。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。(60代 男)
- ・ これからも都民の安全を守るため頑張ってください。よろしくお願いします。(60代 男)
- ・ いつも市民、区民を守ってくれて助けて下さりありがとうございます。救急車で運ばれた時、

声がけして下さりそれがとてもはげみになり、そして自分も助ける立場になりたいと思い救急講習を受けました。(30代 女)

- ・ いつも、お世話様になりありがとうございます。毎日、毎月、何回も救急車のサイレン、消防自動車の動きをみて大変なことであり、ありがたい！！と思っております。感謝申し上げます。(50代 女)
- ・ いつもご苦労様です。最近、我が市でも大きな火災があり、心が痛みました。都営でもいつも救急車を呼ぶ様で、はしご車も連れての対応ありがとうございます。頑張ってください。(70歳以上 女)
- ・ いつも私たちを守って下さってありがとうございます。(60代 女)
- ・ いつもご苦労様です。救急車が来てくれたお陰で命びろいしたことがあります。本当にありがとうございます。大変なお仕事だと思いますが、消防等すごく助かっています。(50代 男)
- ・ ご近所、家族が何度か救急車にお世話になりました。重篤で一人は半身不随・数ヶ月後他界・元気に治った、です。助けて頂き、思い出すと深く感謝の気持ちがこみあげてきます。ありがとうございます。なるべくお世話にならぬよう、心掛けていきます。(50代 女)
- ・ どんな活動をしているかはあまり把握していませんが、町の安全を守ってくれていることに感謝します。ありがとうございます。(20代 女)
- ・ いつも地域安全のために働いて下さり、ありがとうございます。(20代 女)
- ・ いつも地域のために活動いただき、ありがとうございます。(40代 女)
- ・ 子供が消防車が大好きなので、見かけると乗ってる方が手を振ってくださるのでいつも喜んでます。(30代 女)
- ・ いつも大変なお仕事(命をかけての)ご苦労さまです。119番にむやみに通報して、よけいな仕事をさせる問題もあると聞いています。そろそろ有料化してもよいと思います。(救急車に関して)(20代 女)
- ・ いつもありがとうございます。東京オリンピックでは忙しくなると思いますが、体に気をつけて頑張ってください。(40代 女)
- ・ 小学校教諭の為、毎年様々お世話になっております。大変に有難うございます。社会科授業においても行いました。これからも宜しくお願い致します。(30代 女)
- ・ 国民の安全の為、日々ありがとうございます。(40代 女)
- ・ 若い頃は救命講習会を何度も受けた事があります。今は高齢なのでお手伝いできません。よろしく願います。消防士の皆様、私たちの地域を守ってくださって、ありがとうございます。(70歳以上 女)
- ・ 一年中、国民の為の活動、本当にご苦労様です。ありがとうございます。隊員の方々にもお身体に気を付けられて、どうぞ今後も頑張ってください。(30代 男)
- ・ テレビなどの火災を見ると、大変な仕事を皆さん頑張っていると思います。(60代 女)
- ・ つい近頃、息子が救急車でお世話になりました。呼吸障害があるため、時間が勝負の中、手早く処置して搬送していただいただけ助かりました。いつもありがとうございます。(40代 女)
- ・ 地球温暖化により大災害の発生が多発しているように思います。皆様も体に十分注意して活動して下さい。(60代 男)
- ・ 119番通報をして救急隊員の方に来ていただいた事がありますが、その際の隊員の方の頼もしくそして優しいアドバイスが患者の気持ちをととても落ち着かせてくれました。素晴らしい対応の仕方だなあと思いました。(60代 男)

- ・ 消防活動には常に尊敬しています。隊員の方々には自信をもって日常の活動に一層励んでもらいたい。(60代 女)
- ・ 今後とも、都民の安全をお守り下さいませ。(60代 男)
- ・ 消防について広く知らせる努力を続けてください。期待しています。地域での消防訓練やデモンストレーションなどがあるとよいと思います。(50代 男)
- ・ 大変なお仕事だと思い、感謝いたしております。防災等に関しては知識不足を感じましたので色々と学んでいかなければと思いました。(50代 女)
- ・ 私の父が昔警察官及び消防士に従事していましたのでとても親近感があります。大切なお仕事なのでこれからも私たちを見守って頑張ってくださいと思います。(60代 女)
- ・ 今後のすばやい対応に期待しています。(50代 男)
- ・ 命がけの仕事をいつもご苦労様です。感謝しております。心からありがとう。(70歳以上 女)
- ・ いつも消火、救急活動ありがとうございます。(30代 男)
- ・ 昨年3月に主人が救急隊のお世話になりました。テキパキと手配していただきありがとうございました。入院はしましたが、おかげ様で軽くすみしました。大変感謝しております。(70歳以上 女)
- ・ これからも頑張ってください。宜しくお願い致します。いつもありがとうございます。(40代 男)
- ・ 家の近くに消防署があり、小さいお子さんが消防車をみていると、声をかけて近くで説明してくれたり、大変あたたかく対応されているのを見て、すばらしいなと思っていました。又、署の前の掃除や訓練の様子なども見かけて、その行動や活動に敬服します。これからもよろしくお願いします。(50代 女)
- ・ 高齢化で救急も大変だと思いますが、頑張ってください。(60代 男)
- ・ いつも有難うございます。皆様のお陰で私達都民は安心して生活が出来ます。感謝申し上げます。大変過酷なお仕事ですが、くれぐれも御留意なさいませ。(70歳以上 女)
- ・ 両親の介護をしていた時、何度か救急車のお世話になりました。とても感謝しております。(60代 女)
- ・ 最近、母が体調を崩し、救急車を呼びました。とても親切に対応して頂き、感謝しています。母は無事退院してきました。ありがとうございました。(60代 女)
- ・ 参考にして頂き、これからも宜しくお願いします。(50代 女)
- ・ 災害や事故等が起こるたび、ニュースの画面でそのお仕事ぶりに頭が下がります。国内外のお仕事は私共の予想以上、予想外のご苦労がおりと思います。皆様のご活躍に御礼を申し上げますと共に、そのご活動が減少されることも祈念いたします。(50代 女)
- ・ 消防や救急の仕事をされてる方に感謝しています。(30代 女)
- ・ いつも本当にありがとうございます。大変なお仕事ですので、お体に気を付けて下さい。(40代 女)
- ・ 日々過酷な訓練をしている団員さんには頭が下がります。(60代 女)
- ・ 日々の活動に感謝しております。消防の広報活動は実際の訓練や掲示、回覧板などで目にしております。その効果もあり、#7119利用も家族にすすめております。実際利用し助かりました。先日は訓練(トレーニング)中にもかかわらず、孫達にも手を振って頂き、大変喜んでおりました。防火に関してはやや手薄になっているので、見直したいと思います。(50代 女)
- ・ 人それぞれ寿命についての考えは違うでしょうが、80才を超えた人の延命処置について、疑

問を持ってしまいます。激的な痛みを取り除いてほしいというのと、どんな状態になっても生きていたいというのは、また別の問題だと（私自身は）思います。高齢者が自宅で息を引き取りたいと考えていても、救急車を呼んでしまうと、その後、生き地獄のような治療が始まると聞かされると、恐怖を感じます。ただ、自然災害の際などの消防士の方の的確な働きその他、非常に素晴らしく、いつも感謝しています。（60代 女）

- ・ 働いている方々は、くれぐれも事故を減少させてご自分の体にも十分気を遣って、安全第一で勤務して頂きたいと思います。（40代 男）
- ・ 頑張ってください。いつもありがとうございます。（30代 女）
- ・ 安全、安心の為、今後もよろしく願います。身体はキツイと思います！個々の意識を高め、積極的に参加出来るよう、広報にも力を入れて下さい。（60代 女）
- ・ 大変かつ大切なお仕事にかかわって下さり、ありがとうございます。（70歳以上 女）
- ・ いつも感謝しています。幼い子供たちの憧れの的であり続けてほしいと思います。今後ますます重要なお仕事になると思うので、もっと待遇を良くすべきだと考えています。（70歳以上 男）
- ・ いつもお世話になりありがとうございます。大変なお仕事ですが頑張りたいと思います。（50代 女）
- ・ 意見等ではないのですが、いつもありがとうございます。これからもお体にお気をつけて頑張ってください。（20代 女）
- ・ 日々の業務お疲れ様です。昨年向かいのマンションで火災があった際、迅速に対応頂きました。いつもありがとうございます。（30代 女）
- ・ いざという時のために、災害訓練等に参加できるように時間を作りたいと思います（30代 男）
- ・ 火災、事故対応、救急車の仕事、大変なことをいつもありがとうございます。心より感謝しています。（50代 女）
- ・ 普段は全く縁がありませんが、いざという時これほど頼りになる存在は無いと思います。お世話になることが無いのが一番ですが、もしもの時はよろしく願います。（40代 女）
- ・ 1歳のこどもと消防署の前で消防車を見ていたら、中の方に声をかけてくださり、消防車へ乗ることができました。消防士さんを初めて身近に感じ、とても嬉しかったです。消防博物館にも先日伺いましたが、未就学児にちょうど良い広さで展示物も面白く、今後も続けていたきたいです。ただ、日ごろは消防を意識することはなく、救命の方法など知っておきたい講習を受けたいと思っではいるのですが、なかなか時間が取れません。勤務先へ救命講習などで来てくださるとありがたいな、と思っています。（30代 女）
- ・ 隊員の皆様へ 毎日訓練お疲れ様です。皆様ご自身の命も お大事にしてください。（50代 男）
- ・ いつもお勤めご苦労様です。これからもよろしく願います。（30代 女）
- ・ 都民の日常生活に於ける安全と安心の為に今後とも、より一層の活動に、感謝と期待を希望します。（70歳以上 男）
- ・ 国民のために働いていただき感謝してます 災害が起きてからではパニックになっていて通常の行動がとりづらくなるため事前に学ぶ機会をもっと作ってほしい（30代 男）
- ・ 取組の実態を知らないのので、どのように周知するかを工夫するか、知らなくても安心して暮らせる今の活動を維持向上を期待しています。（60代 男）
- ・ ご苦労様です。何もなく平和に過ごせるようこれからも日々皆さんの力になってください。

- また災害時など、早い復旧のために尽力をよろしくお願いします。(40代 女)
- ・ 消防庁の活動には感謝しております。訓練の様子もお見かけしております。日常からかけ離れたいざという時に備えて、いつでも出動できるように尽力していただいている事に身近に接しております。(20代 女)
 - ・ 学校では経験できないこと、今後も沢山消防から発信してほしいと望みます。普段の活動にも敬意を表します。ありがとうございます。(40代 女)
 - ・ 都民を守るためにいつもご苦労様です(60代 女)
 - ・ 安全のためにご尽力頂き、ありがとうございます。(30代 男)
 - ・ いつも私たちが安全に暮らせるようにサポートをいただき、ありがとうございます。これからも引き続きよろしくお願ひいたします。(40代 女)
 - ・ いざ災害が自分の中の身に降りかかった場合は頼りにしなければいけないので、消防庁の日々の予防活動に期待しています。私自身も災害緊急時の対応ができるよう、関心を深めなければならぬと思っている次第です。(40代 男)
 - ・ いつも安全を守って頂きありがとうございます。個人的にお世話になった時とても安心でした。これからも都民の安全のためにご尽力されることをお祈りしています。(40代 男)
 - ・ 人命に関わる仕事に携わってる事はとても尊敬しています。これからも地域の住人の方が安心して生活できるように努めて頂きたいです。日々大変かと思いますが頑張ってください。(30代 女)
 - ・ 温暖化による大雨など自然災害が近年急激に増えているので、災害に対する予防だけでなく、自然災害を防止する取組を環境庁などとイベント開催して、国民の意識を高めていけたら、少しでも予防につながるのではと感じています。まずは職員さんの健康な毎日を願って応援しています。(30代 女)
 - ・ いつも安全にすごさせて頂きありがとうございます。大変なお仕事ですが、これからもよろしくお願ひ致します。(40代 女)
 - ・ 住民の安全・安心のためにいつもご尽力いただき感謝しております。(50代 男)
 - ・ いつもありがとうございます。大きな災害に備え、これからもサポート及び誘導をお願いします。(50代 女)
 - ・ 防災(特に子どものいる家庭)について、子育て支援グループで勉強しています。防災知識をいろいろな機会に教えて頂けるよう期待しています。(50代 女)
 - ・ 火災でないのに火災警報器が鳴りやまず、消防に来てもらった。通報をためらったが、火災の有無を確認していただき、親切に対応して下さった。(60代 女)
 - ・ 病気や怪我の時など救急車がすぐ来てくれると思っているので、安心して生活している。(30代 男)
 - ・ 都民の生命と財産を、日夜命がけで守るお仕事。感謝しかありません。今後共、よろしくお願ひします。(20代 男)
 - ・ いつも地域住民のためのご活動、誠にありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。(50代 女)
 - ・ ご近所の方々が普段着姿から制服を着用されている姿を拝見すると、ステキだなあと思っています。(50代 女)
 - ・ いつもご苦労様です。これからも地域の安全安心をよろしくお願ひ致します。(30代 男)
 - ・ 命をかけてのお仕事で訓練等も含めて大切、大変な業務と認識しております。(50代 女)

■調査内容、方法に関する意見

- ・ いつもありがとうございます。世論調査もお疲れ様です。災害の多い日本だからこそ、考えなくてはいけないことや減災のために取り組むべきことが多くあると思います。こうした世論調査も何かのお役に立てたら幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。(30代 女)
- ・ アンケートの問いに、「ない」という選択肢がないものが数個見受けられたので、きちんと選択肢として入れないと分かりづらい気がしました。(20代 男)
- ・ アンケートの質問内容がややわかりづらかった。(50代 女)
- ・ 実家に住んでいるため、消防庁との接点がないので、どちらでもないの解答多数にいたしました。(30代 女)
- ・ このアンケートはとても難しかった。もっと若い方に出してほしい。主人は途中で分からな
いと投げげてしまい、代筆しました。(70歳以上 男)
- ・ 消防との関わりについての質問を一番最初にしてほしかった。実際、救急車も火災とかにあ
ったことなかったら、わからないのはホントであるので。居住区単位で訓練を実施すること
が意識向上につながると思います。今後の活動に期待します。(50代 男)
- ・ 東京消防庁の存在は知っていましたが、中々日常生活で接する機会がなく、不本意な回答に
なっていました。今後はもう少し関心を持っていきます。(60代 男)
- ・ この調査の最初の I 消防行政に対する満足度について、理由によって満足があったり、不満
があるのに、大まかな質問で決めることに不自然さを感じました。(40代 女)
- ・ アンケートの消防行政に対する満足度に関して、答えのほとんどを「どちらとも言えない」
を選んだのは、消防庁の活動をほとんど知らないからです。(40代 女)

■調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと

- ・ 高齢化による人員不足や、高齢化への消防・防災の対応がどのように変わっていくのかが気になる。(40代 男)
- ・ 高層マンションは、近隣のお付き合いもほとんど無く、避難訓練の実施も記憶にありません。台風の首都圏直撃の体験をしたばかりですので、このアンケートに回答をしながら、もっと地域の防災のことに関心を持たなければならないと反省しました。調査の対象になりました事、感謝です。(50代 女)
- ・ AEDの使い方や救急の時の応急処置を勉強したい。(40代 女)
- ・ 訓練をいつどこでどんな風に行っているか(場所とか)全然知らないで(今回この冊子が届いてHPを見ました)マンションだと、エレベーターホールなら必ず通るのでポスターを貼るなどして自己防災の意識を高められるようなことをした方が良いかなと思います。あと訓練が難しいイメージがある。(40代 女)
- ・ 調査に答える事で、初めて知る事も多く、いい経験になりました。普段から、小さい子どもの世話も含め、何か起こったらどうしよう…と漠然と不安になっているので、もう少ししっかり考えてシミュレーションしておかないとなぁと思いました。(30代 女)
- ・ 質問に答えながら、自分の意識の低さに驚きました。反省できて良かったです。(60代 女)
- ・ いつもご苦労様です。近年火災などは少なくなっているようですが、いつ大地震があるかわかりませんので、自分なりにそなえよ、つねにの気持ちでおります。家の倒壊より、火事がこわいです。(70歳以上 男)
- ・ 今回の世論調査に関わり、改めて消防についての関りを知る事がありました。ありがとうございました。(70歳以上 女)
- ・ 私は幹線道路沿いに住んでいますので、サイレンが鳴る度に皆様のご活躍を身近に感じております。ただ、フルタイムで仕事をしているので、なかなか防災訓練等に参加する機会が無いのが現状です。アンケートの依頼を受け、改めて家具転倒防止対策等を考える良い機会になりました。今後も我々の安心安全を守って頂きますようお願い致します。(40代 女)
- ・ 自分が知らない事が多すぎた(20代 女)
- ・ 消防団について、まったく無知でした。この機会に、地元の消防団について調べてみようと思いました。(30代 男)
- ・ 消防団の方に報酬が出されていることは知りませんでした。でも火災時等に駆け付けたりするので、対価は必要ですね。子どもの頃、夏休みのラジオ体操の後に下水での消火訓練を何度かやりましたが、それ以来機会がありません。社会人になってからも大企業でないと防災訓練はありません。個人が意識して行動しないと機会が全くないのは、ちょっと危機感があります。(40代 女)
- ・ 消防庁の行政サービス、公報内容にもっと興味を持とうと思いました。(50代 男)
- ・ 特に活動内容を知りませんでした(30代 男)
- ・ 今回のアンケートで知らなかったことが多かったのもっとPRしても良いと思います。(30代 男)
- ・ 東京消防庁について全然知らないことがわかった。これからはもっと知ってみようと思う。(10代 女)
- ・ 質問内容のほとんどが知らないことばかりでした。日頃、自分がいかに東京消防庁の活動に関して興味を持っていないかを痛感しました。私はVR防災体験車に特に興味を持ちました。機会があったら是非体験したいです。今回は良いきっかけを下さりありがとうございました。

(20代 男)

- ・ 国内の大きな地震や災害が多い中、不安もたくさんありますが、自分でできることをしっかりとやっていたと思います。今回の調査をきっかけに、色々な活動に参加してみたいな、とも思いました。これからも応援しております。ありがとうございました。(20代 女)
- ・ あまり知る機会がなかったのでいいきっかけとなりました。講習など受けてみたいと思います。(40代 女)
- ・ 消防団について、全く知識がなかったのですが、アンケートの回答で活動内容を知る事ができ良かったです。日頃から、地震対策についてやらなければと思いつつ、なかなか出来ず過ぎていますが、このアンケートを機に、身の回りを再点検し災害に備えるようにできたらと思います。(40代 女)
- ・ 東京消防庁の取り組みについて、具体的に知らない事が多かった。ホームページ等で勉強したいと思います。・防災を考える良い機会になりました。・ネットを使わない年代の方にも広く情報が伝わる様な取組をして頂けたらと思います。(50代 女)
- ・ アンケートを通して東京消防庁の取組や私生活での消防に関する事全てにもっと意識したいなと気づかされました。アンケートで東京消防庁を知ろうと思うきっかけになりました。(30代 女)

■要望など

- ・ #7119の案内がさらに地域の病院と関わっていけるようになればと思います。専門性のある方が常駐して下さると心強い。(50代 女)
- ・ 消防庁での取組発信が広範囲にしてほしい。自治会等に入っている人は×月○日(日)どんな講習会が開かれるとかの広報はあるのですが、入っていない人達(けっこう多い)にはわからない。電柱 or 掲示板等に貼ったりして広めてほしい。(70歳以上 男)
- ・ 消防団の出場区域について、出場区域は自己分団区域及び500m以内の他分団地域という規則がありますが、都心区域は在住者が少なく在勤者が多い為、夜間等災害時、意欲のある他分団の応援がほしいものです。また、その事でお互いの分団がお互い様で親交も深めることが出来ます。また署の方も他分団との親交を深めて下さいとは言いますが、なかなかきっかけがないと親交は深まりません。500mと区切るのではなく、自己消防団エリアとされてはいかがでしょうか？消防団というボランティアの立場で少しでも災害時に役に立ちたい、また災害時出場したい気持ちは、今後想定される大規模災害に対し、その意欲を大事にしてもらいたいです。(50代 男)
- ・ 大阪で阪神淡路、成田で東日本の大きな地震を経験しました。大阪の自宅では「お助け隊」が結成され、昨年の台風の時には大活躍しました。多くは高齢者でしたが、大いに力になりました。消防等の活動に高齢者の力も使ってください。(60代 女)
- ・ 首都圏に関し、都知事はもっと消防に力を入れて欲しい。樹木を増やす、街路樹中心に、もっともっと防火用の木々を増やして欲しい！消火用のプール等、貯水施設を増やす取り組みを都民消防団に持ち回りで参加するようなシステム作りをと地震時の火災に対する意識を強く持つような活動を。とにかく、都民が火災に対する意識を高めなければならない！町ぐるみの訓練は必須だと感じ、強い危機感を持っています。消防の皆様に感謝しております。(60代 男)

- ・ 自宅周辺は道幅が大変せまいので、救急車や消防車が迅速に入れるように把握しておいてほしいです。(40代 女)
- ・ 共働き世帯が増えているので、それに合った啓発活動があるともっと良いと思います。(フルタイムで働く2人で、昼間に災害があったときとか、休日にできる防災活動とか)(20代 女)
- ・ 消防車、救急車がどこへ向かっているのか分かりづらく、車道でよけづらい時があるので車の上部にライト(ウィンカー)で点いたら良いと思いました。(イラスト有)(30代 女)
- ・ 全体的に活動状況が理解出来る書類等、又メディア等の利用を増やす様にしてほしい。(60代 男)
- ・ つい先頃、放火事件が有り、多くの死傷者が出ました。また数年前にも、地方都市でガソリンを撒いて放火する事件が有り、同様に多くの死傷者が出たと記憶しています。火災が広がるまで気付かなかった訳ではなく、目の前で放火されて、多くの死傷者が出ている訳です。これらを防ぐ手立てを考えてもらいたいと思います。(50代 男)
- ・ 自然災害が頻発に起きる時代になりました。一人一人の判断力と行動力がとても大切だと、報道などからよく分かります。個人の力には限界があり、消防に関わる公務員の方々のマンパワーと組織力で安全・安心な暮らし、平和な日々をと期待しております。宜しくお願い致します。(70歳以上 女)
- ・ 職場の研修で防災館に訪れる機会があったが、大変勉強になった。社会人となり、防災教育を受けることがなかなかなかったため、貴重な経験であり、自身の防災意識も高まった。しかし、個人的にこうした場所を訪れることはハードルが高いため、職場等に対し、防災館などで実際に防災体験をする機会を設けるよう更に働きかけていただけたら、都民の防災意識もより一層高まると思う。(20代 女)
- ・ 私は理事長と云う立場上、正式には消防士の方を派遣していただくには、その申請人になり届け出ている。消防署ではどのような対応をされていたかは不明だが、届出書に署の印を押してもらい、それを持ち帰り、スクラップしていた。(ように思っていた。)しかし、今考えると、年2回なら、どちらか1回は消防署の方に来ていただいて実施すべきであった様に思う。それをやると消防署職員が不足するという事は出て来くと思うが、いかがであろうか。ただし、私は14年間、その職にあり大きな問題もなく過ぎて来たので、その辺の取り扱いは慎重にするべきとの思いもあります。(70歳以上 男)
- ・ 仕事で不動産関係の会社に勤めており、飲食店舗に対して物件を賃貸することがあるのですが、もう少し誰が何をしなければいけないのか、ルールを分かりやすく明示して欲しいです。例えば賃貸借契約後にテナントが消防申請を行った結果、ビル全体に自火報をつけなければならなくなったが、所有者が費用負担を嫌がり、もめるケースが多いです。(30代 男)
- ・ 消防団についての情報等をもっとわかりやすく、お知らせしてほしいです。(20代 男)
- ・ 火災・地震・豪雨などが多くなっているように思います。高齢者が増えている。1人1人の知識が高まるようにし、地域活動に指導があればと思います(あるかもしれませんが)。(50代 男)
- ・ 時々外のスピーカーから聞こえる防災訓練の案内?の放送が聞こえづらいと思います。もう少し大きい声でゆっくりとしゃべった方がいいのでは?(50代 女)
- ・ ・最近の台風の影響で、マンションの火災報知器が誤作動で深夜4時に鳴りました。・幸い火災ではなかったのですが、Twitterで検索したところ、多くのマンションで誤報があったようです。・大雨による影響だと思いますが、火災報知機と大雨(もしくは大風?)との関係があ

るのか不明ですが、改善できるのであれば対処をお願いしたいです。警報を手動で消してもまた鳴り、睡眠も十分に取れなかったのです…。(30代 男)

- ・ 仕事と家の行き帰りで地域との関りがなくいざとゆう時にどうしたいのか不安である。(50代 女)
- ・ 救急車がどちらから来るか分からず、運転中の対応がすぐに出来ないことがあります。ナビ画面などにどちらから来るか等を表示できるようにする方法や、マイクで知らせる等出来るといいと思います。(50代 男)
- ・ いざという時に、自分が役に立ちたいと思い、仕事の休みを利用して、上級救命講習を受けたいと、ずっと思っている。災害や緊急時はいつか来ると思っているので、出来るだけ早く講習を受けて、万が一に備えたい。家具の固定や飛散防止フィルムの使用例と、した時としない時の差が伝わると、みなやらなくてはと思うかも知れない。非常食など地震の際に使う物を誰でも分かりやすくリストを作って、月1回お便りで出して、防災意識を高めていくのが良いのではと思った。(30代 女)
- ・ 救急車が道路で先にすすめずにいるのに、まわりの車が路肩へ寄せないでいる光景を何台も見つた時、まわりに居合わせている一般の方々の意識の薄さに驚きました。消防・救急の方々だけではなく、いざという時の現場では、そこにいる人達みんなでその状況を解決する事へ取り組まなければ、消防・救急の方々のせつかくの尽力が最善のものにならなくなってしまふ事は残念な結果になりかねないと思います。当時者の立場になり、公・民が一体になり、力を出していく社会づくりを期待して行く事が、子供達への手本になると思います。(40代 女)
- ・ 最近、救急車がサイレンを鳴らしていても、車内の防音が良いため、交差点でも直近にならないと車輻を確認できない。救急車が車輻に500m近くになると、地震警報の様にケータイが鳴る様なシステムがほしい。救急車を最優先にするマナーの啓もう活動もしてほしい。最近、交差点で見ていると、もっとよけてあげればスムーズに行けるのにマナーがとても悪い。免許の更新時にでも伝えてほしい。(50代 男)
- ・ 家族の病気等で救急には大変お世話になっております。症状が軽度、重度であるか無いかは、その場ではわかりません。特に高齢者だと仕方ないという空気が読めてしまわないよう、多忙な毎日と存じますが、ご対応をお願いしたいと存じます。もし、ここに来なければもっと重度な方を助けられたらと思うと、いつも思っています。(60代 女)
- ・ 救命講習の受講機会がもう少し多いとありがたいです。(以前受講しましたが、間があくと忘れてしまうので。AEDの使い方など)(50代 女)
- ・ 質問にある事は情報が個々(一軒)に来ない。子どもが地域の学校に通う頃は、少しは情報があったが、子どもが成人してからは地域情報は町内情報くらいしかない。警察からのおたよりは新聞に入っているが、新聞をとっていない家は届かない。消防においては、折込や個々のポストにすら情報の提供はない。(60代 女)
- ・ 半年ほど前に近所で火災があり、結構な火事でもかまわずにSNS等に写真をあげるために現場に少しでも近づいていこうという人が少なからずいて、隊員の方に迷惑をかける現場を目撃しました。SNSの規制は難しいことですが、何かロープなどで近寄らせないのはもちろんのことですが、対策を取っていただけたらと思います。いつも見回りなどありがとうございます。(20代 女)

- ・ 活動において、ご自身の生命、身体を第一に考えるべきです。津波や災害で、ご自身がその時出来る限界があります。上層部からのマニュアル・指示も必要だと思います。(70歳以上 男)
- ・ 救急車と消防車は、一緒に来るようになっているのでしょうか。1年間で何回かお願いし助けて戴きましたが、その中で1回だけ23時過ぎに一緒に来ていただき、ご近所にご迷惑をかけました。救急車をお願いした時は、できればご近所には迷惑をかけないようにと考えております。如何でしょうか。(70歳以上 女)
- ・ 地震の際の火災に対し、強い不安があります。隣の家との距離が近く、一気に燃え広がると思うとどうしたらいいのか…(前の家が古く空家なので特に。空家や倒れそうな家に対して何とかして欲しいです)。不安が強い理由として、昔自分の家が隣の家から火が飛んできて燃えました。もう、そんな体験はしたくないです。これからも守っていただけると嬉しいです。よろしくお願いします。(昔の火災の際、毛布を貸してくれたり、火を消してくれたり、ありがとうございました)(40代 女)
- ・ AEDの使用法や胸骨圧迫等の救命措置についての普及活動を、より拡大してほしい。(20代 男)
- ・ 以前関心がなかった住民台帳が災害の多い昨今、行方不明など捜索に役立つと感じています。助ける人ご本人の安全確保は必ずお願いしたいです。(50代 女)
- ・ 若い世帯、子どものいる世帯に積極的に防災訓練に参加してもらえるような機会を設けてほしい。地域の防災訓練にでていと同じ世代の家族をあまり見かけず、参加者の多くも自治会の当番だからという人も多い。何も準備してない人が被災した時、何食わぬ顔で食事配給やトイレに並ばれるのも嫌だし、何より地域のルールとか予め知っておいたら災害時余計なトラブルにならないと思う。また子どもがいる家庭には消防庁側から子どもの救命の講習をやって欲しい。イベントとかでもいいと思うし、防災訓練でやってもいいと思うけど、もっと子どもや高齢者に特化した訓練をやってくれるとより備えられる。(20代 女)
- ・ 近い将来に止血の講習を受講希望です。AEDの取り扱いに関する一回の講習後、しばらくするとうろ覚えになるのが心配。AEDの取り扱いや止血に関するゲーム的なシミュレーションがあるような、AEDの設置箇所のマップとか、講習予約出来たりするコンテンツで消防や救急に関するアプリがあると便利だと思う。(40代 女)
- ・ 1 取り組みについての発信が弱い。テレビで報道されてからこんなイベントあったの?と知ることが多々。2 各種申請窓口の方の対応が気になる。地域によって承認基準が異なったりする。3 災害発生時の体育館等での集団避難場生活で間仕切り設置を進めて欲しい。東日本大震災での被災時、かなり精神的にきました。4 火災現場に消防・救急隊が到着するスピードは早くてすごいです。いつもありがとうございます。(20代 女)
- ・ 本アンケート設問1全般に関して取り組み内容を知らないため、インターネット回答の場合は、取り組み内容に各種取り組みのリンクをつけて頂けると分かりやすいと思います。それにより、東京消防庁の各種取り組みを少しでも周知することができると思います。(20代 男)
- ・ 勤務先が埼玉の為、東京消防庁の活動について詳細はわからないが、もっと消防対する啓蒙・意識づけ活動を行って欲しいと思う。私は防火管理者なので講習を受けたり、一般の方よりは消防に対する意識は高いと思うが、より予算をかけても行うべきだと思います。(40代 男)

- ・ 近隣と交流もなく、消防に関係する災害が起きたら避難場所などどうしたらよいか分からないので、この家の範囲では避難場所はここです！という分かりやすい誘導サイトなどがあると助かります。(40代 女)
- ・ 救急相談センターの更なる周知と、救急出動回数の低減対策(軽症や緊急性の低い場合) 民間の有料救急制度が有っても良いのではないかと思います。
- ・ 消防/防災ヘリコプターの騒音を何とかしてほしい。 低空で行ったり来たり、何をしているのか疑問に思う事が多々ある。(70歳以上 男)
- ・ キュータより、もっと可愛くて親近感の湧く「ゆるキャラ」にして欲しい。(20代 男)
- ・ 防火防災に関する都民への啓蒙活動を今後も引き続きお願いいたします。大規模災害時は、消防、警察の対応を期待するのではなく(ご高齢者、体の不自由な方を除く)、自分たちで何とかしなければならぬ(事前の備えも含めて)という現実を多くの人が気付く活動をお願いします。(50代 男)
- ・ 子供は働く車が好きです。身近な働く車である消防車や救急車に乗ったり、見学できるイベントがあれば、もっと消防に興味を持つと思うので、そのようなイベントを増やして貰いたいです。(30代 女)
- ・ 住民のため、様々な広報活動や周知活動を実施していただいているとは思いますが、実際に危機感や関心を持っている人はあまり多くないように感じる。実際の救護活動はもちろんのこと、住民一人一人の意識の向上を目的とした活動も重要だと思うので、引き続きよろしくをお願いします。(30代 男)
- ・ AEDについては、日本語だけではなく外国語も使用できるようにしてほしい。海外に行ったときに、AEDを私が使う場面に遭遇したが、母国語だけの説明のために、利用できなかった。(30代 男)
- ・ 一般の人が参加しやすい様な場所で東京都で大規模災害が起こった際の避難の仕方や用意して置くべき物過ごし方等の講座を開いて欲しいと思う。子供でも分かりやすいように映像化されたものがあれば尚良。また、市区町村公認の避難グッズの販売等をして欲しい。(30代 女)
- ・ 災害についての備え方についてくわしく教えていただける機会を多く作っていただきたい。外出先であった時など気になる。すぐにわかる様に避難所等の記載などすぐにわかりやすくするしくみを作ってほしい。(50代 女)
- ・ 自分自身があまり身の危険を感じたコトが少ないのかもしれません。わからないコトだらけなので町内会等でのイベントがあれば良かったと思います。(50代 女)
- ・ 高齢者に「#7119」等の使い方を文書で送付願います。(70歳以上 女)
- ・ 昨今、大規模な地震や、災害が他人事ではなく身近で頻繁に起こっていると思います。それぞれの世代が「自分にできること」をより一生懸命に探して動いているようにも思えます。都や国が今の時代に合ったアプローチで沢山の人が、被災地等に協力できる、環境作りをしてほしいと思います。(30代 女)
- ・ 消防車のサイレン(音)について、「住宅街に入ったら音をもう少し小さくする」など、個人のお願いを聞いてもらうことはできないのかなと思います。(50代 女)
- ・ “働き方改革”が世間で話題になる中で、消防団が副業の選択肢の1つとなるようアピールできると良いですね。(20代 男)
- ・ 今、色々な災害が多くなっていますが、実際自分がそういった災害にあっていない為、ついつい後回しになってしまいます。災害を体験された方々から広く意見を聞いてもらい、これ

からの防災に役立ててもらいたいと思います。またその情報を私達にもおしえて頂けたら…
と思います。(50代 女)

- ・ 夜中に消防のサイレンがたくさんなっていると不安になる。地域を検索して、過去や現在の出勤記録や火災規模原因などが簡単に HP などでもわかるようにしてほしい。幼稚園や学校の行事に親子参加型の防災訓練など実施してほしい。赤ちゃんの定期健診などで子供（赤ちゃん）の応急手当て、人工呼吸や心臓マッサージなど、実技指導してほしい。冊子だけでは分からない。(30代 女)

■ 広報活動などについて

- ・ 消防行政は身近では全くわかりませんし、見えません。災害時、火災時のニュースで活動しているのを見るだけです。もっと地域住民に AED の使い方や応急処置の講習会等知らせて欲しい。消防団の内容等全く知りませんので、PR 不足だと思います。警察より消防の方が身近であるべきと思います。もっと親しみのある消防署にしてください。(70歳以上 女)
- ・ 今発生している火災の状況を管轄の消防署の HP に公表してほしい。(60代 男)
- ・ 消防庁主催のイベント情報を知る事があまりないので、区の広報誌の無料発送を定期的に行っていただきたいです。(50代 女)
- ・ 訓練・講習など消防に関する事はほとんど知りません。もう少し理解ができて、わかるものがあれば欲しいです。(50代 女)
- ・ 近所で自宅の屋上内でゴミを燃やしていた人がおり、通行人により隣りのビルが火災であると見えて 119 番通報があって消防車がかなりの台数来たことがあり、私達もおどろきました。日常の中でのこの様な自分の建物だから、自分の所有地だからとゴミや落ち葉を燃やす行為があってはならない事を周知していただく様、配布するチラシ等に火災予防の一つとして載せていただきたいと思います。他にも、私達の知らない禁止事項も、載せていただけるとありがたいです。よろしくをお願いします。(30代 男)
- ・ 30年以内に70%の確率で首都直下型地震が発生すると言われているのにもかかわらず、イマイチどういった備えをすれば良いかわかりません。「東京防災」という黄色い冊子が配られています。全ての人が一目瞭然でわかるような家に貼れるポスターなどがあると良いなと思います。また、もう少し危機感があるような警告をしてほしいです。(他の地域で地震が起きてもどうしても他人事になってしまっています。都民全員がどれだけ真剣に備えるかによって、実際に地震が起きた時に、死傷者の人数を少なくできると思います。よろしくお願い致します。(20代 女)
- ・ 日常的に余り活動的に目にする事が少ないので、消防庁に関わらず、PR活動を増やす(年間)事で住民にはもっと認識されたいと思います。(60代 男)
- ・ 普及、啓発活動に終わりはなく、又、今、知り得る媒体はたくさんあるので、より具体的な、災害に関する、例えば避難場所、対応方法等を周知することに努めてほしい。(60代 男)
- ・ 警察は春秋の交通安全週間とかで活動がありますが、消防署の活動が今一わかりません。広く国民に知らせる活動があれば(チラシ等でもよい)良いと思います。※活動はされていると思いますが、知らない人がいると思います。(50代 男)
- ・ いざという時にとらなければいけない行動が意外と知らない人が多いのではと感じます。(自分も含め)より身の安全のために何をすべきかを意識するために普及していただければと思います。都民の安全のため、よろしくをお願いします!(20代 男)
- ・ 消防庁の運動や地域住民が参加できる情報などを街の掲示板にも貼って頂けると見ているので助

かります。(30代 女)

- ・ “東京消防庁便り”の類のものがあれば、閲覧するのですが、現在、その有無がわかりません。広報紙等があれば是非拝見したいものです。(70歳以上 男)
- ・ 会社で AED 訓練や救命講習受講を推進していますが、地域で暮していると目に留まる機会が少ないので、積極的にアピールすると思います！（企業、学校、医療機関、区役所等、公的な機関連携で）(50代 女)
- ・ 東京消防庁でありながら東日本震災の時はいち早く救命にかけつけ、テレビのニュース等で放映できないほどの悲惨な現場でご活躍なされた方が多数いらしたと、息子の友人から聞きました。皆様方のご活躍の様子等をテレビ、メディアを通じてもっと知らせるべきです。どのように力になって下さっているか、知らない人達が多すぎます。国政にも、もっと予算を要求して皆様方のご活躍の幅を広げ、仕事に見合った収入をもって消防庁に勤務なさる若者が増えることを祈っております。皆様ご苦労様です。(70歳以上 女)
- ・ テレビなどで活動内容を頻繁に知る機会があると理解が深まると思います。(30代 男)
- ・ AED 訓練において、着衣のまま救命できる方法があればもっと公表してほしい。ネットやテレビで紹介される動画は、なぜかいつも成人男性か子供のモデルばかりで、女性が倒れた場合、プライバシーを配慮しながらの救命方法がわからないから。(20代 女)
- ・ テレビを見るという事がほぼ無くなったので、こういう事をしているというのをもう少しインターネットの方でも拡散してほしい。訓練は実際にやらなければならないですが、知識は無いよりもある方が良くと思うので、インターネット上で消防関係の知識をつけられる様なサービスを強制的にやらせる様な仕組みを作って欲しい。他例えば、LINE ではサイバー訓練というのがあるので、参考にしてほしいです。(20代 女)
- ・ AED 講習とかしているなら参加したい。地域便り、ポスターやチラシなど、そちらから発信アピールしてほしい。自身で探すのは面倒(30代 男)
- ・ 息子(2歳)は消防車が好きなので、消防関係のイベントなど積極的にお知らせして頂きたいです。(30代 女)
- ・ 子供は消防自動車が好きなので、もっとイベントを近くで開催してほしいです。(40代 男)
- ・ PR活動が少ないように思います。ネットなど様々な手段で啓蒙活動をして欲しいと思います。(60代 男)
- ・ 対策をしていただいたことを、広く周知してほしい。地震対策や台風などの対策、住民を巻き込んで具体的に行ってほしい(50代 女)
- ・ 日々の業務お疲れ様です。防災予知、防止、情報発信等の活動部分で、もの足りなさを感じています。今は有事の際の正確な情報の伝達が生命線としますので。(60代 男)
- ・ このアンケートに答えるにあたり東京消防庁について考えましたが、普段の生活(消防関係者が周りにいない人に限る)で東京消防庁について本当に詳しく知る機会がある人はどのくらいいるのだろうかと思いました。影で支えて下さっているというのも重要、且つ素敵ですが東京消防庁の方が考えるよりも周囲へのアピール性はより必要なのではないかと思いました。(30代 女)
- ・ 上級救命講習は以前職場で受けたが、退職して再受講する機会がないので、自宅近くで受けられれば知らせてくれる仕組みがあると有難いです。(60代 女)
- ・ 東京消防庁の活動について、幅広い認識が持てる広報活動などがあると良いと感じます。(40代 男)
- ・ 普段、消防庁が行っている防火防災活動がどのくらいあるのか、もっと情報を積極的に流してほしい。(50代 男)

- ・ 放火などからの防火対策の一環として地域対策が必要と思われる中、この地域は防火活動に積極的に取り組んでいると感じさせるような対応、例えばポスターの掲示、防犯カメラ設置をアピールする活動も必要ではないかと感じます。(40代 男)
- ・ 父が防火管理者の講習に行って、火災や防火についての認識が変わったとっていました。54才の父が今までも火事は怖いものと知っていたのに、特に何も行動をしていませんでしたが、講習後からは家の周りに燃えるものを置かないとか、警報機を付けるとか、職場の消火器などにも気を使うようになりました。それを見て、消防の仕事や話をもっともっとテレビやラジオ、あるいは、身近な講習で知ることができれば良いなと思いました。テレビで消防や救急などの特別番組などもあると嬉しいですね。(20代 男)
- ・ 消防団など地域のボランティアに支えられていると思われます。活動の周知があると、たくさんの方々に参加していただけるのではないかと思います。(20代 男)
- ・ 日頃のご活動に感謝いたします。#7119についてです。既に母子手帳などに記載はされて若いお母様方をご存知かもしれませんが、昨今、新聞を購読されていない世帯が増加していることや、TVをみないご家庭も増え、#7119を知らない方も多いかと思います。必要な方の救命率を向上させる為に①マグネットにプリントしたもの(水もれ救急などにあるような名刺大のもの)を全戸配布。②ネットで広告する等ご検討されてはいかがでしょうか。(50代 女)
- ・ YouTubeのチャンネル開設をもっとアピールしていただいた方が、関心が高まるかと思います。特に仕事が不規則だとマンションの訓練にも参加が難しいので…今回のアンケートでYouTubeの存在を知りました。(30代 女)
- ・ 救急相談センター(#7119)のサービス内容を、もっと広く普及するとともに、消防・防災をもっと身近に感じられるよう、今後も取り組みをお願い致します。(20代 女)

■救急車の利用について

- ・ 救急車の利用（不正に）について正しく使ってもらふ態勢を整えてもらいたい。本当に必要な人に一刻も早く到着できるように！要請してから到着までの時間が年々遅くなっていると聞いたことがある。要請した側からすれば一分一秒でも早く来てほしいので。よろしくお願いします。（50代 女）
- ・ 先日、救急車を呼ぶタイミングがあり、呼ぶべきか、迷ったため#7119に電話をした。その時の対応した男性が、とても冷たく、悲しい気持ちになった。結局救急車を呼ぶかは自分で判断してくださいと言われた。傷病者は自力で立ち上がれそうにもなかったので結局救急車を呼んだ。幸いにも大事にはいならず、すぐに自宅に帰れたが、とても不快な思いをした。毎日いろんな人が電話をかけてくるのは分かるが、不安と焦りがある人には冷たすぎる対応だった。その後対応してくれた救急隊員の方にはとても親切にいただいた。#7119を普及させたいなら、もう少し寄り添う対応をすべき。（20代 女）
- ・ 家は妻も子どもも障害者で毎度も救急車にお世話になっています。いつもの確な処理をして頂いてありがたいです。ただ一つ言わせてもらえば、救急車に乗ってから病院が決まるまで少し時間がかかるなというも思います。（50代 男）
- ・ 母と父がお世話になったとき、一生懸命マッサージをしてくれて感謝しています。（50代 女）
- ・ 119番通報後すみやかに対応していただきました。今後とも即応体制が維持されることを願っております。（60代 男）
- ・ 災害時に、アメリカではFEMAや州単位での対策があるようですが、日本にはそれに当たるのが消防や自衛隊なのでしょうか？首都直下に対して、自衛隊がどこまで有効でしょうか？火の海になるであろう東京都に、消防が追いつくとも思えませんし、指示系統が統一されていても大混乱ですよ？とり急ぎ、区単位での具体的なケース別ハザードマップと特別チームとかできないものですかね？（50代 女）
- ・ 不要不急の救急要請に対する懸案がなんとかあったらいいのに、というも気にしています。（40代 男）
- ・ 子供が大けがをして救急病院に連れて行ったことがありました。その病院ではたまたま、「専門医が不在なので他の病院に」と言われ、あちこちの病院に電話をかけ、車を走らせ受け入れ先をずいぶん探しました。救急車の方がよかったのかはわかりませんが、緊急を要する時の受け入れ体制をしっかり整備していただきたいと思いました。（40代 女）
- ・ 近年の日本は軽傷であっても救急車をタクシー代わりに利用する国民が増加しているように見えます。本当に必要な時に利用するものだという認識を与えるための活動をお願いしたいのと同時に、法律的にも変えていって頂けると幸いです。（30代 女）
- ・ 救急車の出動状況などをみると、頭が下がる思いです。救急車の出動については、是非もあると思うが一部有料にするなど対策が必要だと思う。（40代 女）
- ・ 妻が出産の時、早産になってしまったので緊急搬送されることになったが、なかなか搬送先が決まらず、2時間以上待たされた。結局、自宅から一番近い大学病院に搬送。仕方ないこともあるかと思うが、待っている間は不安だった。対応はとても良く、親切にしてもらったので良かった。（30代 男）

■その他

- ・ いつもご苦労様です。近くの消防署でトレーニングの様子を見る事があります。体力維持大変ですね。多摩川のそばなのですが、イベントへ行かれるときは見に出かけています。「消防庁」と言われると身近な存在ではあるが、仕事内容は特別で、いつも自分たちを守ってくれる存在。その間になにか近寄りたいたいものがあるのは、古い人間だからかもしれません。(70歳以上 女)
- ・ 最近救急車の前に消防車がくる。何かと思うが…待っている人には心強いかもしれませんね。災害があったら、あわてない事ですね。あわてると事故がおきます。(60代 女)
- ・ 防災訓練で火災報知器をならさないと住居にわからない。消防署が昔は参加していただき講話や通知指導などあったが、いまは消防署が消極的と考えている。(60代 男)
- ・ 通報が重複しているのかは不明ですが、消防車の出動が多すぎる様に感じます。煙も何も出ていないのに、消防車が何台も来て、更にまだ出動してくるケースをよく見ます。(70歳以上 女)
- ・ 日々の救急車や消防車の往来等目、耳にする時が多いです。職員の方々は毎日の勤務や訓練に励んでいらっしゃるようで、どなたもとても良いお顔をしておられます。いざという時に助けて下さる人がいるという事は安心して生活できるにもつながります。大きな災害があっては困りますが、住人同士の助け合いも大切ですね。(50代 女)
- ・ 父が消防団員だった事もあり、父と同居していた時には防災関係の集まりなどに参加する機会がありました。今では仕事の忙しさもあり、防災関連を含め、地域の情報を集める機会自体が少なくなっただと感じます。(30代 男)
- ・ 講習会が無料だと行く気になるのですが、有料だと、後回しにしがちです。興味はあるのですが、今は年金問題や給料が低いこともあり、節約や別のことを優先してしまいます。今はいつ災害が起こるかわからないので、予防に力をいれることは重要だとは思っていますが、なかなか行動に至りません。(30代 女)
- ・ 救急隊員の現場での対応の横柄さが毎度気になる。(40代 男)
- ・ 個々人の災害対応の質の向上など、市民の防災意識の向上は今後必須だと思います。(20代 男)
- ・ どんな取り組みをやっているのか知る機会が全くない関わりがない(20代 男)
- ・ 近所に消防署があり、救急救命講座なども実施しているようです。いつか機会がありましたら参加したいと思います。(20代 女)
- ・ 子どもが小学生のうち、訓練などで学校に消防車がきたり、応急処置を教わったりと、親子でかかわる機会がありました。中学生以上になると、親の機会はなかなかないかと思います。職場などで参加する機会があればしてみたいです。(40代 女)
- ・ 先日の台風で家が3日間停電となりました。毎日携帯で話し状況を聞いていました。幸いにも水道は大丈夫だったので…何とかあった様です。我が家はオール電化なのですが…災害にそなえての…マニュアルがほしいです…あと、住んでいる地域が災害にあった時の一例の風景画などみてみたいです…一番は火事なのか、家屋倒壊なのか…職場でも何の被害が一番多いのか？と話しています…やっぱり一番は火事か？など…ならば避難はどの様にしたら一番いいのか？など…(50代 女)
- ・ 住宅火災警報器を買ったのですが、使いませんでした。なぜなら、ワンルームで煙や、ちょっとした火でも、警報機が鳴りだして不便だと聞いたからです。近所迷惑をかける気がして。(何でもなかった時)(60代 男)